SBC i-D

SEQUENTIAL BOOST CONTROLLER i-D

"BLITZ" means advanced car performance. Improve every motor performance parameter with BLITZ.
Established in 1980, BLITZ has revolutionized the automotive industry.

# 取り扱い説明書

BLITZ

## ■CONTENTS


●CONTENTS 1

●安全上のご注意

はじめに・・・

●製品の取り付けに関して
シーケンシャルバルブユニットの取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
アクチュエータ（スイングバルブ）タイプ配管方法・・・・・・・・・・・・・・・ 32
ウェイストゲート（ポペットバルブ）タイプ配管方法・・・・・・・・・・・・・・ 33
主要車種別配管図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
ＣＰＵユニットとコントローラーの取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
●取り付け後の確認 44

●製品の初期値と仕様 45

●本製品の問い合わせについて 44

●本製品の保証について 46

## 安全上のご注意
## ■はじめに

- この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。
- この製品は競技専用部品です。一般公道での使用を目的とする場合は、改造申請を行ってください。
- 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

**警告**　この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
  換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- この製品および付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けないでください。
  運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- この製品は、車両電源がＤＣ１２Ｖ車で車体（ボディ）アースの車両専用です。
  ＤＣ２４Ｖで使用しないでください。火災の原因となります。
- バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
  ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
  ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
  そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- 運転者は走行中にこの製品の操作を行わないでください。
  事故の原因となります。
- この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配ｂ｢よう注意してください。
  ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。

**注意**

**この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。**

- **この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。**
  **取り付けには専門の知識と技術が必要です。**
- **この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。**
  **作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。**
- **この製品の加工・分解・改造は行わないでください。**
  **事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。**
- **高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。**
  **感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。**
- **エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。**
  **エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。**
- **定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。**
  **この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちたり、異物をかみ込んでバルブがスティックする事があります。**
- **過給圧の上げ過ぎには、注意してください。**
  **過給圧を上げ過ぎると、エンジン・タービンを破損する恐れがあります。**
  **過給圧の上げ過ぎよる不具合に関して、弊社は一切のその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**
- **取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。**
  **当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。**
- **ボルト・ナット類は、適当な工具で確実に締め付けてください。**
  **必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。**

## ■はじめに確認してください!

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に且つ正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をよくお読みください。

## 最初に

本製品はターボチャージャーのブースト（加給圧）を任意に調整する装置です。燃料の増量及びフューエルカットを防止する機能はありません。車両によっては、燃料の増量やフューエルカットの防止装置が必要になります。

## ■製品の特徴

・シーケンシャルソレノイドバルブがブースト圧を的確にコントロールし高いレスポンスと確かな安定性を実現します。
・希望するブースト圧をダイレクトに入力するだけで、ＣＰＵが自動解析し設定値となる超簡単フルオートタイプのブーストコントローラーです。
・ブースト圧、（レコード、リプレイ機能付）ワーニング、ピークホールド、スクランブルブースト、リミッター、スピードマップアナライザー機能を搭載。（ＯＰＴＩＯＮ機器が必要）
・ブースト圧は、デジタル表示グラフィック表示と任意に切替が可能です。
・視認性、インテリア性を重視したグラフィックＬＣＤ大型イルミドライブディスプレイを採用。１／２ＤＩＮで厚みはわずか１５mm。取り付けしやすく、操作性に優れたコンパクトなコントローラーです。
・ＯＰＴＩＯＮ機器であるパワーメーターと光通信（ＩＲＣ）により連動機能を行います。

## ■ブーストコントロールについて

・シーケンシャルバルブ制御
２つのソレノイドバルブを別々の開度によって開閉します。低開度域では主にバルブ１の開度が変化し、高開度域では主にバルブ２の開度が変化します。
・ブースト圧の自動補正
希望のブースト値を入力すると自動的にそのブースト圧になるように補正をはじめます。
初期の補正量（デューティー値）が目標値に達するとＬマークが消灯します。Ｌマークが消灯しなくてもブーストコントロールは行いますが、Ｌマーク点灯中のＣＨはＳＣＲＡＭＢＬＥ機能やＳＰＥＥＤ　ＭＡＰ機能が使用できません。
Ｌマークはフルオートモードのみ有効です。マニュアルモード時には自動補正は働きません。

**注意**　フルオートでブースト設定時、最初の一回目はノーマルブーストから序々に上昇します。但しハーフアクセル等でフルブーストがかからなかった場合、初期のデューティ値の補正量が大きいため次回のフルアクセルで設定値より大きなブースト圧がかかる場合があります。リミッタ設定等で保護することをお勧めします。

## ■マップアナライザーの接続について

制御チャンネルをＥＸＴにするとマップアナライザー（弊社別売）によりブースト圧制御が可能です。

## ■非接触赤外線光通信

非接触光通信方式によるオプション機器の接続が可能です。接続には付属の連結プレートを用いて位置合わせを行ってください。

オプション機器（ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄ）から送られてくるデータが速度であればＳＰＥＥＤ　ＭＡＰ機能が有効になります。

また、オプション機器から送られてくるデータを記録・再生する事もでき、接続相手にワーニングが発生した時には連動してバックライトが赤く点灯します。

オプション機器のデータ種類・種類名・単位・データ桁数などについてはオプション機器によって設定されているので、ＳＢＣ　ｉ－Ｄ側での設定はできません。

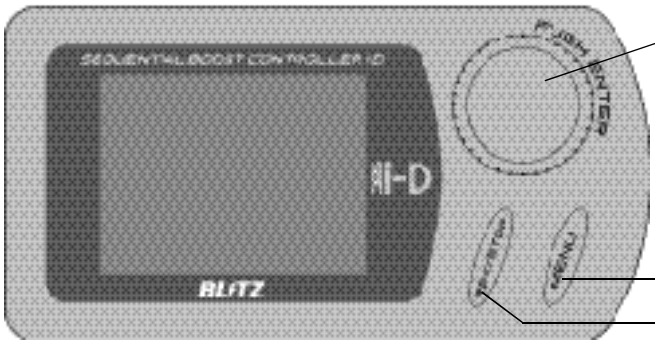
## ■外部電圧入力

３ＣＨの０～１６Ｖの外部電圧を入力して画面表示・記録・再生が可能です。

最低電圧と最高電圧を－９９９～９９９９に目盛変更が可能、単位も６文字の任意設定が可能なので、ＥＣＵのアクセル開度端子などに接続すれば０～１００％というようにロガー機能に使用できます。

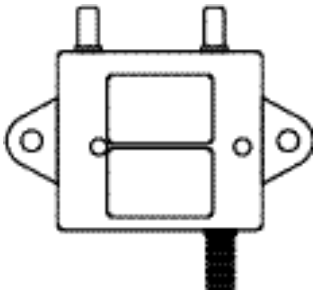
## ■製品の構成と各部の名称

### 1）コントローラー部（表示器）




### 2）CPUユニット

### 3）シーケンシャルバルブユニット



## 配線

**５Ｐハーネス部**

**先端のコネクタに付属のメインハーネスを接続してください。**

**３Ｐハーネス部**

**弊社別売　マップアナライザーを接続する場合に使用します。**

**バキューム配管**

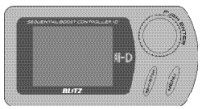
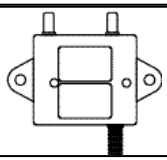
**車両のサージタンク又はインテークマニホールド（スロットルＯＦＦで負圧が発生する場所）へ配管してください。**

**内部コネクタ**

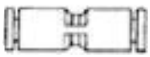
**①ＤＩＳＰＬＡＹ　　コントローラーハーネスを接続してください。**

**②ＶＯＬＴＡＧＥ　　外部電圧入力オプションを接続するときに使用します。（別売）**

## 構成部品及び付属品リスト

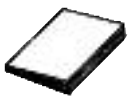
| コントローラー本体 | CPUユニット | バルブユニット | φ6ホース　1M |
|---|---|---|---|
|  | |  | |
| 1 | 1 | 1 | 2 |

| クランプ　φ6用 | φ6スリーウェイ | ナイロンホース | ジョイントTパイプ |
|---|---|---|---|
| | | | |
| 8 | 1 | 1 | 1 |

| ナイロンホースφ4ジョイント | エレクトロタップ | 丸端子、ギボシセット | メインハーネス |
|---|---|---|---|
|  | | | |
| 1 | 2 | 1 | 1 |

| マジックテープ | 両面テープ | 六角ボルト | 六角ナット |
|---|---|---|---|
| | | | |
| 1 | 1 | 2 | 2 |

| S／Pワッシャー | 平ワッシャー | タイラップ(100mm) | OPTION機器用連結プレート |
|---|---|---|---|
| | | | |
| 2 | 2 | 3 | 1 |

| 取扱説明書一式 |
|---|
|  |
| 1 |

## ●ＳＢＣ　ｉ－Ｄの取り付け作業手順

**取り付け上のご注意**

**１．バッテリーのマイナス端子を取り外してください。**

**●ショートなどによる電装部品の破損や火災を防ぎます。取り付けミスにより車両やその他機器が破損した場合、弊社は一切の責任を負いません。**

**２．バルブユニットへのゴムホースの配管はＩＮ、ＯＵＴの区別があります。方向を間違えないようにご注意下さい。**

**●方向を間違えた場合ブーストが制御できずエンジンやターボチャージャー等が破損する恐れがあります。**

**３．各連結部にエアー漏れがないことを確認してください。**

**●ホースは垂直にカットし、差し込んで抜けない事を確認してください。**

**●ナイロンホースを抜くときはコレットキャップを押してください。**

**４．ホースは熱の影響を受けにくい場所を通してください。**

**●熱によってホースが損傷しエアー漏れの原因になります。**

**５．コントローラーの取り付けは運転上差し支えのない場所に取り付けてください。**

**●運転操作に支障をきたすと事故の原因になり危険です。**

**６．本製品を取り付けてブースト（過給圧）を上げる場合は燃料の増量やコンピューターのリセッティングが必要です。**

**●ＣＰＵのセッティングは必ず専門業者に依頼してください。エンジン等が破損する恐れがあります。**

**バルブユニットを取り付けてください。→Ｐ３１**

**主要車種別の配管図→Ｐ３４～４２**

**ＣＰＵユニット及びコントローラーの取り付け→Ｐ４３**

**取り付け後の確認→Ｐ４４**

**エンジンを始動し希望のブースト値を入力します。→Ｐ１４**

## ＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ（メインメニュー選択画面）

**ＳＢＣ　ｉ－Ｄは任意のブースト値をダイレクト入力するだけで、目標のブースト圧にコントロール可能なフルオートタイプのブーストコントローラーです。**
**ここで設定したデータはＳＢＣ　ｉ－ＤのＣＰＵにメモリされ、ＭＡＩＮ　ＭＥＮＵでＡＬＬ ＲＥＳＥＴを選択しない限りＩＧＮ－ＯＦＦの状態でもデータを保存します。**

## １．メインメニュー項目の選択

**ＩＧＮ－ＯＮでオープニング画面となり、その後最初に現れる画面でＳＢＣ　ｉ－Ｄの基本となるメニュー項目が表示されます。**

**（図）**

**①選択方法**
**エンコーダを回転させて（右回しでＤＯＷＮ）ＭＡＩＮ　ＭＥＮＵの希望の項目を選択します。選択された項目が反転して表示されます。**

**②決定方法**
**ＥＮＴＥＲで決定します。**
**選択した項目によってはＳＥＴＴＩＮＧ　ＭＥＮＵへ移動します。　※エンコーダをプッシュ（押す）するとＥＮＴＥＲです。**

**③選択の取り消し（ＵＮＤＯ機能）**
**ＥＮＴＥＲでＳＥＴＴＩＮＧ　ＭＥＮＵへ移動した場合、ＭＥＮＵキーを押すことで一つ前に操作されていた画面（状態）に戻すことができます。**

**【ＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ】の状態でＭＥＮＵキーを押すとＤＩＧＩＴＡＬ／ＧＲＡＰＨＩＣのＤＩＳＰＬＡＹ表示画面にモードを切り替える事ができます。**

**BOOST**
**任意に目標ブーストを設定できます。**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲでＳＥＴＴＩＮＧ　ＭＥＮＵへ　→　Ｐ14**

**WARNING**
**ワーニング設定したブースト値に達すると音と光で警告します。**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲでＳＥＴＴＩＮＧ　ＭＥＮＵへ　→　Ｐ16**

**SCRAMBLE**
**設定した時間〔０～９９秒〕スクランブル設定したチャンネル〔ＣＨ１～ＣＨ４〕のブースト圧になります。**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲでＳＥＴＴＩＮＧ　ＭＥＮＵへ　→　Ｐ17**

**SPEED MAP**
**弊社別売ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄ　定価￥２４，８００との連動機能です。**
**車速に応じたブースト圧の制御が可能になります。**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲでＳＥＴＴＩＮＧ　ＭＥＮＵへ　→　Ｐ18**

**DISPLAY**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲでデジタルやグラフィックのディスプレイ画面の選択モードに移動します。　→　Ｐ19**

**REPLAY**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲで記録されたブースト圧の再生画面へ切り替わります。　→　Ｐ29**
**拡張機能として外部電圧を入力している場合や、別売のＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄを連動している場合はブースト圧以外のデータも再生可能です。**

**DATA**
**３チャンネルあるポートに外部電圧〔０～１６ｖ〕を入力する事によりデーターを最大３個までモニター〔画面表示、記録／再生〕する事が可能です。**
**データの入力にはオプション設定の専用ハーネスが必要です。**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲでＳＥＴＴＩＮＧ　ＭＥＮＵへ　→　Ｐ20**

**AUTO.PEAK**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲで選択エンコーダーを回転させてＯＮ／ＯＦＦを選び、再度ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲで決定します。**
**〔ＯＮの場合〕　ブースト圧が２秒間連続して大気圧以下になると、次にブースト圧が上昇（大気圧以上）した瞬間にピーク値をリセットします。**
**〔ＯＦＦの場合〕通常のピーク値と同意です。それまでの最大のブースト圧を表示します。**

**AC/WG　　（スイングバルブタイプ／ポペットバルブタイプ）**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲで選択エンコーダーを回転させてＡＣ／ＷＧを選び、再度ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲで決定します。**

**UNIT**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲで選択エンコーダーを回転させて圧力単位を次の４種類から選択できます。ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲで決定。**
**ｋｇ／ｃｍ２：－７６ｃｍＨｇ～２．５０ｋｇ／ｃｍ２**
**ｋＰａ　　：－７６ｃｍＨｇ～２．４５×１００ｋＰａ**
**ＢＡＲ　　：－３０ｉｎＨｇ～２．４５ＢＡＲ**
**ＰＳＩ　　：－３０ｉｎＨｇ～３５．５ＰＳＩ**

**CONTRAST**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲで選択エンコーダーを回転させてＬＣＤのコントラストを変更します。**
**〔０～１００〕ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲで決定。**

**BRIGHT**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲで選択エンコーダーを回転させてＬＥＤの明るさを調整します。**
**〔０～１０〕ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲで決定。**

**RESET**
**設定内容をすべて初期化します。**
**ＰＵＳＨ　ＥＮＴＥＲでＳＥＴＴＩＮＧ　ＭＥＮＵへ　→　Ｐ21**

## ＳＥＴＴＩＮＧ　ＭＥＮＵ（セッティングメニュー選択画面）

**１．セッティングメニュー項目の選択**

**①選択方法**

**エンコーダを回転させて（右回しでＤＯＷＮ）希望の項目を選択します。選択された項目が反転して表示されます。**

**②決定方法**

**ＥＮＴＥＲで決定し、エンコーダの回転で内容の変更が可能になります。**
**変更後ＥＮＴＥＲキーを押すと設定が確定します。**

**③選択の取り消し（ＵＮＤＯ機能）**

**ＭＥＮＵキーを押すことで一つ前に操作されていた画面（状態）に戻すことができます。**

**２．セッティングメニュー**

**①ＢＯＯＳＴ画面の説明**

**ＳＢＣ　ｉ－Ｄはブースト圧設定値を合計４種類（ＡＵＴＯ／ＭＡＮＵＡＬ）メモリーすることが可能です。**

**ＣＨＡＮＮＥＬ（セッティングチャンネルの選択）？**

**ＣＨ１～ＣＨ４　：それぞれのチャンネルにお好みのブースト圧を設定してください。**
**ＥＸＴ　：弊社別売マップアナライザーとの連動機能です。詳細はマップアナライザーの説明書を御読ください。**
**ＯＦＦ　：ブースト制御をしないのでアクチュエータの作動圧力のみのブースト圧となります。**
**ＭＡＰ　：弊社別売ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄ　定価￥２４，８００との連動機能です。ＭＡＩＮ　ＭＥＮＵのＳＰＥＥＤ　ＭＡＰに対応します。**
**ＡＵＴＯ／ＭＡＮＵ　：フルオート設定とマニュアル設定の切替です。**
**ＳＥＴ　：ＡＵＴＯ　０．００～２．５０ｋｇ／ｃｍ２**
**０．００～２．４５×１００ｋＰａ**
**０．００～２．４５ＢＡＲ**
**０．０～３５．５ＰＳＩ**
**ＭＡＮＵ　０～１００（ポイント式）**

**注意**　**ポイントはノーマルブーストに対する割合です。ダイレクトなブースト値ではありません。ポイント０でノーマルブーストポイント１００でその車両のターボ系の限界までブーストが上昇しますので、十分に注意してください。**

**ＧＡＩＮ　　：比例ゲイン　０～１００**
**ブーストの立ち上がりを調整できます。数字を大きくすれば速く立ち上がり、小さくすれば遅くできます。**
**ノーマルターボの場合およそ１５～２５が推奨値です。**
**（但し、ＧＴ－Ｒなどのツインターボ車は除きます。）**

**ＧＲＡＰＨ　ＳＣＡＬＥ：ディスプレイ画面（ＤＩＧＩＴＡＬ／ＧＲＡＰＨＩＣ）におけるグラフスケールを設定できます。数値は以下のようにそれぞれの圧力単位に対応します。**
**１．０、１．５、２．０、２．５ｋｇ／ｃｍ2**
**１．０、１．５、２．０、２．５×１００ｋＰａ**
**１．０、１．５、２．０、２．５ｂａｒ**
**１０、２０、３０、４０ＰＳＩ**

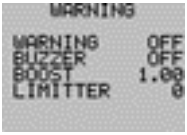
**ショートカット操作**

**ＥＮＴＥＲキーを３秒間連続して押すと最後に操作されたブースト圧デジタル画面かブースト圧グラフィック画面へ移動します。また、画面移動後ＥＮＴＥＲキーを３秒間連続して押すともとのブーストセッティングメニューに戻ります。**

**各項目の設定終了後ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ画面へ切り替わります。**

**②ＷＡＲＮＩＮＧ画面の説明**

**任意のブースト設定値に達するとＬＣＤのバックライトが赤く点灯し警告を発します。**




**ＷＡＲＮＩＮＧ　：ＯＮ　警告でＬＣＤバックライトが赤く点灯します。**
**ＯＦＦ　警告を発しません。**

**ＢＵＺＺＥＲ　：ＯＮ　警告でブザー音が鳴ります。**
**ＯＦＦ　警告でブザー音が鳴りません。**

**ＢＯＯＳＴ　：ワーニングさせたいブースト値を入力してください。**
**０．００～２．５０ｋｇ／ｃｍ２**
**０．００～２．４５×１００ｋＰａ**
**０．００～２．４５ＢＡＲ**
**０．０～３５．５ＰＳＩ**

**ＬＩＭＩＴＴＥＲ　：０～１００　ポイント式　（ブーストのマニュアル設定と同意）**
**ワーニング設定のブースト値になると自動的にブースト圧を設定ポイント分下げます。**
**ワーニングＯＦＦ時には作動しません。（ＯＦＦ状態です。）**
**ポイント０に設定すると作動しません。（ＯＦＦ状態です。）**

**注意**

**リミッターモードでの数値はダイレクトなブースト圧ではありません。オートモードで使用する場合はあらかじめオートでのブースト値がマニュアル式のポイントで何ポイントに相当するか確認した上で使用してください。マニュアルモードでの使用は弊社ＤＵＡＬ　ＳＢＣ同様です。表示チャンネルのポイント値からの割合でブーストを下げます。**

**ＷＡＲＮＩＮＧ設定がＯＦＦの場合、ＢＵＺＺＥＲがＯＮでもブザー音は鳴りません。**
**ＷＡＲＮＩＮＧ設定がＯＮの時場合、ＯＰＴＩＯＮ機器のワーニング機能に連動します。**
**ＯＰＴＩＯＮ機器のワーニング機能に連動する場合ブザー音は鳴りません。ただし、連動中に自己のワーニングが発生すれば設定にしたがってブザー音が鳴ります。**

**ショートカット操作**

**ＥＮＴＥＲキーを３秒間連続して押すと最後に操作されたブースト圧デジタル画面かブースト圧グラフィック画面へ移動します。また、画面移動後ＥＮＴＥＲキーを３秒間連続して押すともとのブーストセッティングメニューに戻ります。**

**各項目の設定終了後ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ画面へ切り替わります。**

**③ＳＣＲＡＭＢＬＥ画面の説明**

**ブースト圧が０．３５ｋｇ／ｃｍ2以上の場合ＴＩＭＥ項目で設定した時間分[ＳＥＣ]指定ＣＨ（チャンネル）のブースト圧に制御されます。**

**ＴＩＭＥ[ＳＥＣ]　：ＯＦＦ～９９**
**ＴＩＭＥがＯＦＦの場合スクランブル動作はしません。**
**最大９９秒までの設定が可能です。**

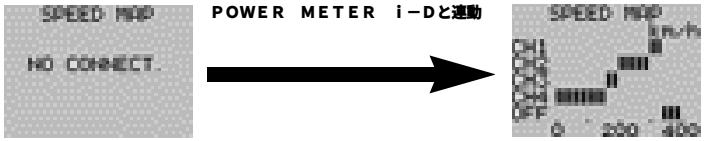
**ＣＨＡＮＮＥＬ　：ＣＨ１～ＣＨ４**
**スクランブルブースト圧のチャンネルを設定してください。**

**[例]　ＣＨ１：ブースト１．０ｋｇ／ｃｍ2　ＣＨ２：ブースト１．２ｋｇ／ｃｍ2**
**通常ＣＨ１で走行、ＴＩＭＥを５[ＳＥＣ]、スクランブルチャンネルをＣＨ２に設定した場合、スタートしてブースト０から立ち上がり最初の５秒間はＣＨ２で制御されそのごＣＨ１で制御されます。**
**この制御はＳＣＲＡＭＢＬＥをＯＦＦにしない限り、０ブースト以下になれば毎回同じ制御を繰り返します。**

**各項目の設定終了後ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ画面へ切り替わります。**

**④ＳＰＥＥＤ　ＭＡＰ**

**ＯＰＴＩＯＮ機器（弊社ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄ）が接続されていない場合はディスプレイにＮＯ　ＣＯＮＮＥＣＴと表示されＭＡＩＮ　ＭＥＮＵへ戻ります。**
**但し、ＯＰＴＩＯＮ機器が接続されていない状態でもＮＯ　ＣＯＮＮＥＣＴ表示中にＥＮＴＥＲキーを３秒間押すと設定が可能になりますが、ＳＰＥＥＤ　ＭＡＰ機能自体は使用できません。**




**画面は横軸フルスケールが３２０ｋｍ／ｈ（２００ＭＰＨ）、縦軸にＣＨ１～４、ＯＦＦを配置した速度ＭＡＰイメージを表示しています。**
**制御チャンネルを２０ｋｍ／ｈ単位で設定する事が可能なので４つの設定ブーストを車速に応じて可変させることができます。**
**[設定方法]**

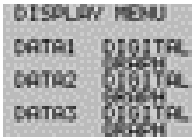
1. **エンコーダーを左右回転させるとカーソルが速度方向に移動します。ＥＮＴＥＲキーを押すとカーソルの形状が変わり縦方向への移動が可能になります。**
2. **縦軸のＣＨ１～ＣＨ４、ＯＦＦを選択してＥＮＴＥＲキーを押すとカーソル形状が戻りＭＡＰが確定します。**
3. **単位がＢＡＲまたはＰＳＩに変更されると速度単位“ｋｍ／ｈ“を”ＭＰＨ“に自動変更します。**

**各項目の設定終了後ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ画面へ切り替わります。**

## ⑤ＤＩＳＰＬＡＹ　ＭＥＮＵ

**表示項目の説明**

**ＢＯＯＳＴ　ＤＩＧＩＴＡＬ　：ブースト圧デジタル値表示画面**
**ＢＯＯＳＴ　ＧＲＡＰＨ　　：ブースト圧グラフ表示画面**
**ＯＰＴＮ１　ＤＩＧＩＴＡＬ　：ＯＰＴＩＯＮ１デジタル値表示画面**
**ＯＰＴＮ１　ＧＲＡＰＨ　　：ＯＰＴＩＯＮ１グラフ表示画面**
**ＯＰＴＮ２　ＤＩＧＩＴＡＬ　：ＯＰＴＩＯＮ２デジタル値表示画面**
**ＯＰＴＮ２　ＧＲＡＰＨ　　：ＯＰＴＩＯＮ２グラフ表示画面**

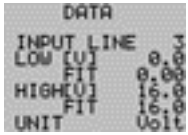



**ＤＡＴＡ１　ＤＩＧＩＴＡＬ　：ＤＡＴＡ１デジタル値表示画面**
**ＤＡＴＡ１　ＧＲＡＰＨ　　：ＤＡＴＡ１グラフ表示画面**
**ＤＡＴＡ２　ＤＩＧＩＴＡＬ　：ＤＡＴＡ２デジタル値表示画面**
**ＤＡＴＡ２　ＧＲＡＰＨ　　：ＤＡＴＡ２グラフ表示画面**
**ＤＡＴＡ３　ＤＩＧＩＴＡＬ　：ＤＡＴＡ３デジタル値表示画面**
**ＤＡＴＡ３　ＧＲＡＰＨ　　：ＤＡＴＡ３グラフ表示画面**

**ＯＰＴＩＯＮ機器（弊社ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄ）が接続されている場合はＯＰＴＮ１はＳＰＥＥＤ、ＯＰＴＮ２はＰＯＷＥＲと表示されます。**
**各項目をエンコーダーの左右回転で移動してＥＮＴＥＲキーを押すと選択され、それぞれの画面へ移動します。**

**ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ画面に戻ります。**

## ⑥DATA




**表示項目の説明**

**ＩＮＰＵＴ　ＬＩＮＥ：１～３（同時に３つまでのデータを入力できます。）**

**Ｌｏｗ電圧　　：０．０～１６．０Ｖ**
**Ｈｉｇｈ電圧　　：０．０～１６．０Ｖ**
**Ｌｏｗ側ＦＩＴ値　：－９９９～９９９９**
**Ｈｉｇｈ側ＦＩＴ値　：－９９９～９９９９**
**ＦＩＴ値数値表現　：０．００～９．９９　１０．０～９９．９**
**１００～９９９**
**－０．１～－９．９　－１０～－９９９**
**ＵＮＩＴ　　：最大６文字まで入力可能。**
**単位の入力は英数記号表から**

**[例]　車両の空燃費（Ａ／Ｆ）を入力する場合**
**センサー出力が０Ｖの時Ａ／Ｆが0、１６Ｖの時Ａ／Ｆが１６ならば**

| | |
|---|---|
| ＬＯＷ [Ｖ] | ０．０ |
| ＦＩＴ | ０．００ |
| ＨＩＧＨ[Ｖ] | １６．０ |
| ＦＩＴ | １６．０ |
| ＵＮＩＴ | ＶＯＬＴ |

**以上のように設定すればＡ／Ｆの表示が可能です。同様にして電圧に対応する数値を入力すればスロットル開度やエアフロー率、水温等の表示も可能です。**

**ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ画面に戻ります。**

⑦ＲＥＳＥＴ

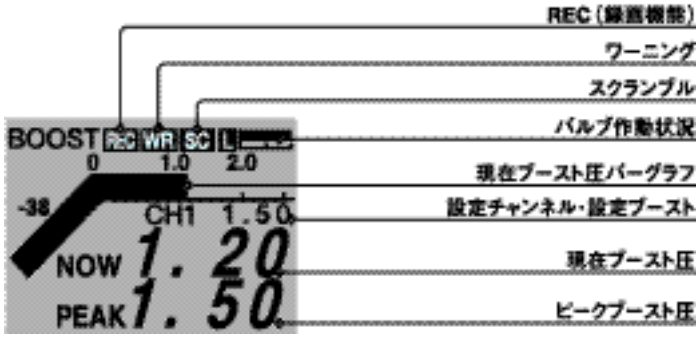
表示項目の説明

ＥＸＥＣＵＴＥ　：ＥＮＴＥＲで選択すればすべての設定が初期化されます。

ＣＡＮＣＥＬ　：ＭＡＩＮ　ＭＥＮＵの画面に戻ります。

ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ画面へ切り替わります。

**ＤＩＧＩＴＡＬ／ＧＲＡＰＨ画面**
**①ＢＯＯＳＴ　ＤＩＧＩＴＡＬ画面**




**画面の説明→**

**Ｌマークは初期の自動補正の認識状況を表しています。（フルオートモードの場合）**
**ＭＴ車の場合３～４速ギヤで最大ブーストのかかる回転数約４０００～５０００ｒｐｍで**
**３～４回走行するだけで、目標ブーストに到達します。目標ブースト圧に設定されると**
**Ｌマークが消えます。**
**ＡＴ車の場合３速ホールドモードで同様に最大ブーストのかかる回転数で走行して下さい。**
**ホールドモードがない場合シフトアップしないように走行してください。シフトアップ時の**
**ブースト変動が大きくＬマークが消えない可能性があります。**

| **注意** | **Ｌマークが消えなくてもブーストコントロール自体に問題はありません。但し、スクランブル機能やＳＰＥＥＤ　ＭＡＰ機能が使用できません。また、Ｌマーク消灯後も自動補正は継続して行われます。** |
|---|---|

**ＮＯＷ　　：リアルタイム状態でのブースト圧を表示します。**
**ＰＥＡＫ　　：最大瞬間ブースト圧を表示します。**
**ＰＥＡＫ値のリセット：ＲＥＣ／ＳＴＯＰキーとＭＥＮＵキーの同時押しでリセットできます。**

**ＤＩＧＩＴＡＬ画面表示中の操作について**

**エンコーダー左回転でＤＡＴＡ３グラフ表示画面へ移行します。**
**エンコーダー右回転でブースト圧グラフ表示画面へ移行します。**
**ＲＥＣキーを押すと一度メモリクリアしてから記録を開始します。**
**記録中にＲＥＣキーを押すと記録停止します。（ＲＥＣ　ＳＴＯＰ）**
**ＲＥＣキーを３秒間連続して押すと記録データの再生を始めます。**
**ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵへ移行します。**

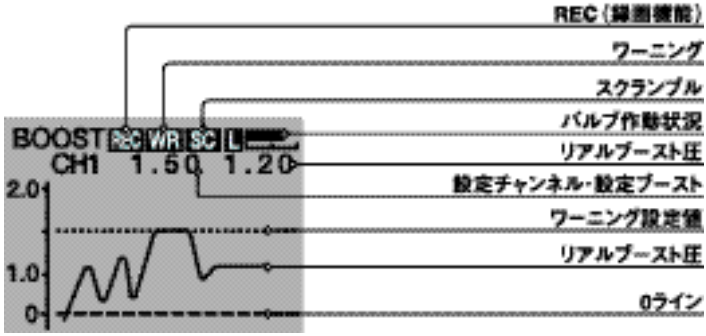
**ショートカット操作**

**ＥＮＴＥＲキーを３秒間連続して押すとＢＯＯＳＴ　ＳＥＴＴＩＮＧ　ＭＥＮＵへ移行します。**

ダイレクト操作について

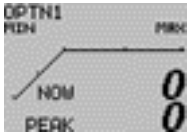
１．ＤＩＧＩＴＡＬ画面表示モードでＥＮＴＥＲキーを押すとダイレクト操作に移行できます
２．制御チャンネル、目標ブースト値の順で選択可能になり、選択された項目は反転表示します。
３．エンコーダーの左右回転で設定を変更してＥＮＴＥＲキーを押すと設定が確定します。
４．ダイレクト操作中もブースト圧などの表示は常に更新されます。

②ＢＯＯＳＴ　ＧＲＡＰＨ画面

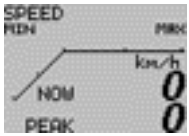


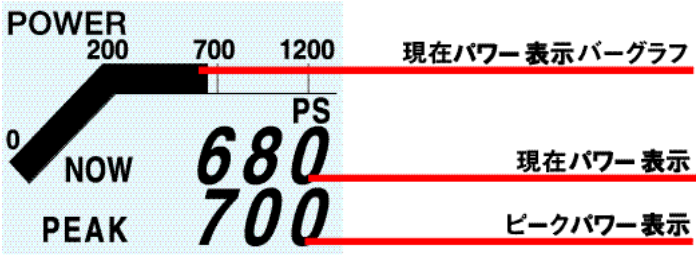

指定チャンネルのブースト圧をリアルタイムにグラフ表示します。
ＲＥＣ機能等操作方法はＤＩＧＩＴＡＬ画面と同様です。
ＧＲＡＰＨ画面表示中の操作について
エンコーダー左回転でブースト圧デジタル値表示画面へ移行します。
エンコーダー右回転でＯＰＴＩＯＮ１デジタル値表示画面へ移行します。
ダイレクト操作及びその他の機能はブースト圧ＤＩＧＩＴＡＬ画面表示と同じです。
グラフスクロールに関して
インマニ圧力が２秒間連続して大気圧以下になったら、グラフスクロールを一度停止し、再度大気圧以上になったらグラフスクロールを再開します。

**ＤＩＧＩＴＡＬ／ＧＲＡＰＨ画面**
**③ＯＰＴＮ１　ＤＩＧＩＴＡＬ**
**別売　ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄとの連動機能です。**




**ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄと連動（光通信）した場合はＳＰＥＥＤ（車速）の表示が可能です。**

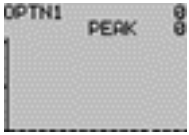


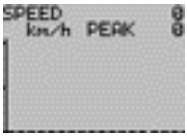

**ＮＯＷ　　：今現在の車両スピードを表示します。**
**ＰＥＡＫ　　：車両スピードのピーク値を表示します。**
**グラフスケール、単位、データ種類などの情報はＯＰＴＩＯＮ機器（ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄ）側から送られて来るため、ＳＢＣ　ｉ－Ｄ側での設定変更等はできません。**
**例：０．６秒間のピークホールド表示する／しないなどの設定はＯＰＴＩＯＮ機器側が行います。**

**ＤＩＧＩＴＡＬ画面表示中の操作について**
**エンコーダー左回転でブースト圧グラフ表示画面へ移行します。**
**エンコーダー右回転でＯＰＴＮ１グラフ表示画面へ移行します。**
**ＲＥＣキーを押すと一度メモリクリアしてから記録を開始します。**
**記録中にＲＥＣキーを押すと記録停止します。（ＲＥＣ　ＳＴＯＰ）**
**ＲＥＣキーを３秒間連続して押すと記録データの再生を始めます。**
**ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵへ移行します。**

**④ＯＰＴＮ１　ＧＲＡＰＨ**
**別売　ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄとの連動機能です。**




**ＤＩＧＩＴＡＬ画面と同様にＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄと連動（光通信）した場合は**
**ＳＰＥＥＤ（車速）グラフの表示が可能です。**




**ＧＲＡＰＨ画面表示中の操作について**
**エンコーダー左回転でＯＰＴＮ１ＤＩＧＩＴＡＬ表示画面へ移行します。**
**エンコーダー右回転でＯＰＴＮ２ＤＩＧＩＴＡＬ表示画面へ移行します。**
**ＲＥＣキーを押すと一度メモリクリアしてから記録を開始します。**
**記録中にＲＥＣキーを押すと記録停止します。（ＲＥＣ　ＳＴＯＰ）**
**ＲＥＣキーを３秒間連続して押すと記録データの再生を始めます。**
**ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵへ移行します。**

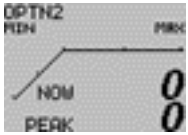
**グラフスケール、単位、データ種類などの情報はＯＰＴＩＯＮ機器（ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ**
**ｉ－Ｄ）側から送られてくるため、ＳＢＣ　ｉ－Ｄ側での設定変更等はできません。**

**グラフスクロールに関して**
**２秒間連続して車速が０ｋｍ／ｈ以下になると、グラフスクロールを停止し、再度車速が**
**１ｋｍ／ｈ以上になるとグラフスクロールを再開します。**

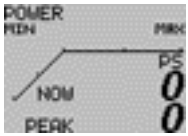
**ＤＩＧＩＴＡＬ／ＧＲＡＰＨ画面**

**⑤ＯＰＴＮ２　ＤＩＧＩＴＡＬ**

**別売　ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄとの連動機能です。**




**ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄと連動（光通信）した場合はＰＯＷＥＲ（馬力）の表示が可能です。**




**画面の説明→**

**ＮＯＷ　　：今現在の車両の発生している馬力を示しています。**

**ＰＥＡＫ　　：その車両の発生した最大馬力を表示します。**

**グラフスケール、単位、データ種類などの情報はＯＰＴＩＯＮ（ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄ）側から送られてくるため、ＳＢＣ　ｉ－Ｄ側での設定変更等はできません。**

**例：０．６秒間のピークホールド表示する／しないなどの設定はＯＰＴＩＯＮ機器側が行います。**

**ＤＩＧＩＴＡＬ画面表示中の操作について**

**エンコーダー左回転でＯＰＴＮ１ＧＲＡＰＨ表示画面へ移行します。**

**エンコーダー右回転でＯＰＴＮ２ＧＲＡＰＨ表示画面へ移行します。**

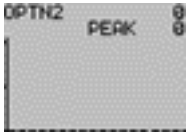
**ＲＥＣキーを押すと一度メモリクリアしてから記録を開始します。**

**記録中にＲＥＣキーを押すと記録停止します。（ＲＥＣ　ＳＴＯＰ）**

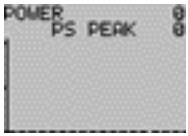
**ＲＥＣキーを３秒間連続して押すと記録データの再生を始めます。**

**ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵへ移行します。**

**⑥ＯＰＴＮ２　ＧＲＡＰＨ**
**別売　ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄとの連動機能です。**




**ＤＩＧＩＴＡＬ画面と同様にＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄと連動（光通信）した場合は**
**ＰＯＷＥＲ（馬力）グラフの表示が可能です。**




**ＧＲＡＰＨ画面表示中の操作について**
**エンコーダー左回転でＯＰＴＮ２ＤＩＧＩＴＡＬ表示画面へ移行します。**
**エンコーダー右回転でＤＡＴＡ１ＤＩＧＩＴＡＬ表示画面へ移行します。**
**ＲＥＣキーを押すと一度メモリクリアしてから記録を開始します。**
**記録中にＲＥＣキーを押すと記録停止します。（ＲＥＣ　ＳＴＯＰ）**
**ＲＥＣキーを３秒間連続して押すと記録データの再生を始めます。**
**ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵへ移行します。**

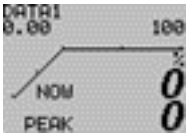
**グラフスケール、単位、データ種類などの情報はＯＰＴＩＯＮ（ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ**
**ｉ－Ｄ）側から送られてくるため、ＳＢＣ　ｉ－Ｄ側での設定変更等はできません。**

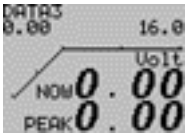
**グラフスクロールに関して**
**２秒間連続して馬力が０ＰＳ以下になると、グラフスクロールを停止し、再度馬力が１ＰＳ**
**以上入力されるとグラフスクロールを再開します。**

**ＤＩＧＩＴＡＬ／ＧＲＡＰＨ画面**

**⑦ＤＡＴＡ１～３　ＤＩＧＩＴＡＬ画面**

**別売　外部電圧入力用ハーネスが必要です。**

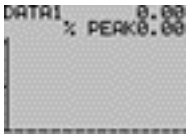


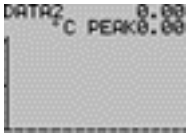


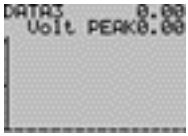

**⑧ＤＡＴＡ１～３　ＧＲＡＰＨ画面**

**同様に外部電圧入力用ハーネスが必要です。**

**（別売）**




**ＤＩＧＩＴＡＬ／ＧＲＡＰＨ画面表示中の操作について**

**エンコーダー左回転でＯＰＴＮ２ＧＲＡＰＨ表示画面へ移行します。**

**エンコーダー右回転でＤＡＴＡ１ＤＩＧＩＴＡＬ表示画面～ＤＡＴＡ３ＧＲＡＰＨ表示画面へそれぞれ移行します。**

**ＤＡＴＡ３ＧＲＡＰＨ表示画面のときさらにエンコーダー右回転でブースト圧ＤＩＧＩＴＡＬ表示画面へ移行します。**

**ＲＥＣキーを押すと一度メモリクリアしてから記録を開始します。**

**記録中にＲＥＣキーを押すと記録停止します。（ＲＥＣ　ＳＴＯＰ）**

**ＲＥＣキーを３秒間連続して押すと記録データの再生を始めます。**

**ＭＥＮＵキーを押すとＭＡＩＮ　ＭＥＮＵへ移行します。**

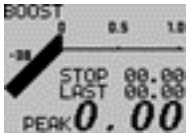
**ショートカット操作**

**ＥＮＴＥＲキーを３秒間連続して押すとＤＡＴＡ　ＳＥＴＴＩＮＧ　ＭＥＮＵへ移行します。**

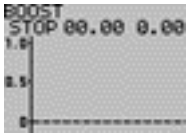
**表示数値、単位なまた、ＤＡＴＡ　ＳＥＴＴＩＮＧ　ＭＥＮＵ表示画面でＥＮＴＥＲキーを３秒間連続して押すと選択しているＤＡＴＡのＧＲＡＰＨ表示画面に移行します。**

**ＲＥＰＬＡＹ機能**

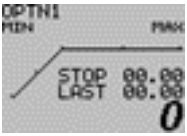
**ＲＥＣ機能でＲＥＣＯＲＤ（記録）したデータがＲＥＰＬＡＹ（再生）できます。**
**ＤＩＳＰＬＡＹ（ＤＩＧＩＴＡＬ／ＧＲＡＰＨＩＣ）画面の時ＲＥＣ／ＳＴＯＰキーを押すと自動的に前回の記録をクリア（消去）してレコードを開始し（画面上にＲＥＣと表示されます）もう一度ＲＥＣ／ＳＴＯＰキーを押すとレコードをストップします。**
**１２種類ある画面のすべての画面でＲＥＣ機能は使用できますが、ＯＰＴＩＯＮ機器や外部電圧の入力データ数によってＲＥＣＯＲＤ（記録）できる最大時間が変化します。**
**下記におおよその記録可能な時間を示します。**

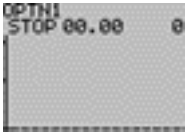



| | |
|---|---|
| **・ブースト圧のみ** | **１１分１５秒** |
| **・ブースト圧、ＯＰＴＩＯＮ機器（車速／馬力）** | **２分３６秒** |
| **・ブースト圧、電圧入力３ＣＨ** | **３分１３秒** |
| **・ブースト圧、ＯＰＴＩＯＮ機器、電圧入力３ＣＨ** | **１分３９秒** |

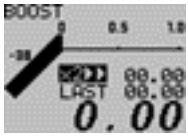



**尚、データの記録は自動認識です。ＯＰＴＩＯＮ機器を接続すれば２分３６秒に外部電圧も入力すれば１分３９秒に自動的に設定されます。手動での変更は不可です。**




**ＲＥＰＬＡＹ画面**
**ＭＥＮＵ画面のＲＥＰＬＡＹ項目を選択しＥＮＴＥＲキーを押すとＤＩＧＩＴＡＬ表示画面、ＧＲＡＰＨ表示画面で記録したデータを再生します。エンコーダーを回転させて表示させたい画面を選択してください。**



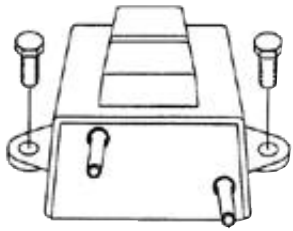
**ＰＬＡＹ表示中にＥＮＴＥＲキーを押すとＰＬＡＹ表示が反転し早回し、巻戻し、倍速再生停止等の操作変更が可能になります。**
**エンコーダー右１クリックで×２倍速早送り再生　×２≫≫表示します。**
**エンコーダー右２クリックで×５倍速早送り再生　×５≫≫表示します。**
**エンコーダー右３クリックで高速早送り再生　ＦＷＤ≫表示します。**
**エンコーダー左１クリックで停止　ＳＴＯＰ表示します。**
**エンコーダー左２クリックで×２倍速巻き戻し再生　×２≪≪表示します。**
**エンコーダー左３クリックで×５倍速巻き戻し再生　×５≪≪表示します。**
**エンコーダー左４クリックで高速巻き戻し再生　≪ＲＷＤ表示します。**

**ＧＲＡＰＨ表示画面の場合大気圧以下（負圧）でも記録されたデータはスクロールします。**
**ＲＥＣ（記録中）状態の時にＲＥＰＬＡＹされるとＲＥＣ（記録）ＳＴＯＰ（停止）します。**

**グラフスクロール中（ＲＥＰＬＡＹ中）はＯＰＴＩＯＮ機器（ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄ）に対して、常に記録データを送信します。**
**つまり、ＳＢＣ　ｉ－Ｄ側でＲＥＰＬＡＹ中はＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄ側でも自動的にＲＥＰＬＡＹ（再生）機能が働きます。**
**また、ＯＰＴＩＯＮ機器の記録再生は、再生指示された瞬間のＯＰＴＩＯＮ機器設定にしたがって再生します。**

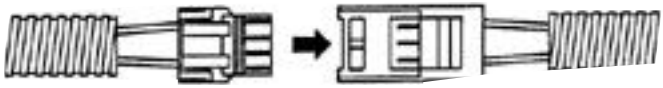
## ■シーケンシャルバルブユニットの取り付け

１．付属のバルブユニットをアクチュエータ付近のなるべく高温多湿にならない場所(但しＴ／Ｃからの配管が１Ｍ以内になる場所）へ付属のボルト、ワッシャーを使用して取り付けて下さい。



[注意]　配管が長くなると応答遅れの原因となり、ブースト圧のハンチング現象やオーバーシュートの発生につながります。

２．バルブユニットから出ている赤色のコネクターにＣＰＵユニットへ接続するメインハーネスを挿し込んでください。

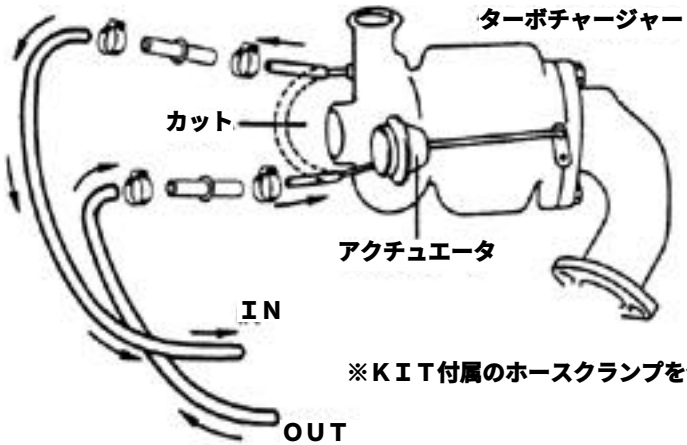


３．バルブユニットへの配管

アクチュエータ（スイングバルブ）タイプ

（１）アクチュエータに付属のホースを適当な長さに切断し取り付け、バルブユニットのＯＵＴ側に取り付けてください。

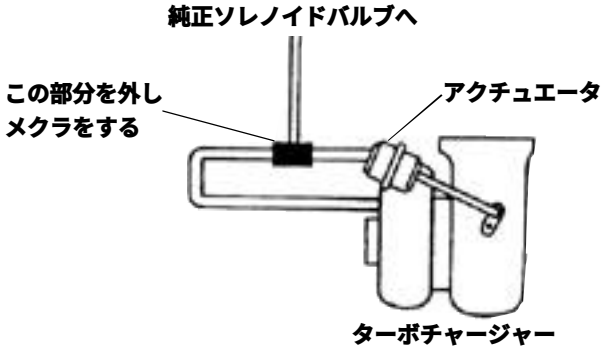
（２）ターボチャージャーのコンプレッサー後（スロットルバルブ）までの間の取り出し口に付属のホースを適当な長さに切断し取り付け、バルブユニットのＩＮ側に取り付けてください。




※ＫＩＴ付属のホースクランプを使用して下さい。

●日産・三菱系の車両にあるようなソレノイドバルブコントロール方式

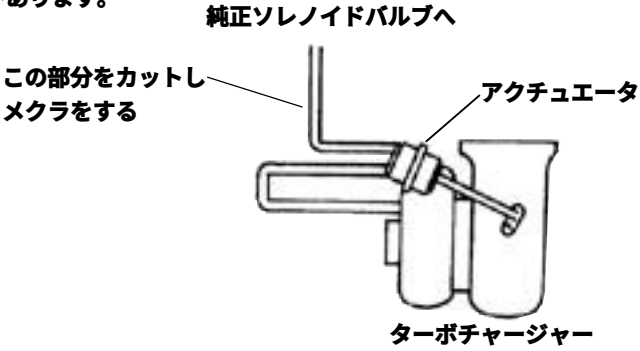
ソレノイドバルブに行く配管を外して栓をしてください。またサクションパイプ側に戻してある場合はサクションパイプ側にも栓をしてください。



●トヨタ系の車両にあるような２モードコントロール方式

ソレノイドバルブに行く配管を外してアクチュエータ側、ソレノイド側それぞれに栓をしてください。

ソレノイドバルブのコネクターは外さないで下さい。エンジンチェックランプの点灯する車両があります。

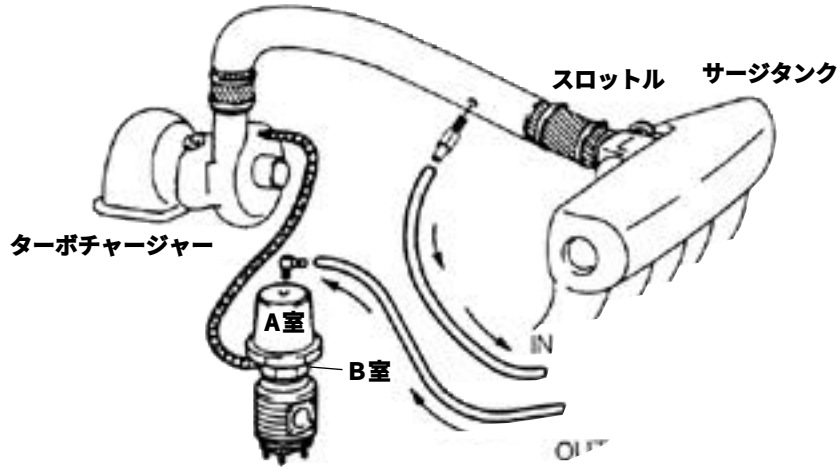



ウェイストゲート（ポペットバルブ）タイプ

（1）ターボチャージャーのコンプレッサーカバーからスロットルバルブまでの間からブースト圧を取りだし、バルブユニットのＩＮ側へ接続しＫＩＴ付属のクランプで固定してください。

（2）また、バルブユニットのＩＮ側へ接続した同じ圧力をスリーウェイ等で分岐しウェストゲートＢ室（下室）のニップル（別売）へ接続し、ＫＩＴ付属のクランプで固定してください。

（3）バルブユニットのＯＵＴ側から図中ウェイストゲートＡ室（上室）のニップル（別売）へ接続しＫＩＴ付属のクランプで固定してください。



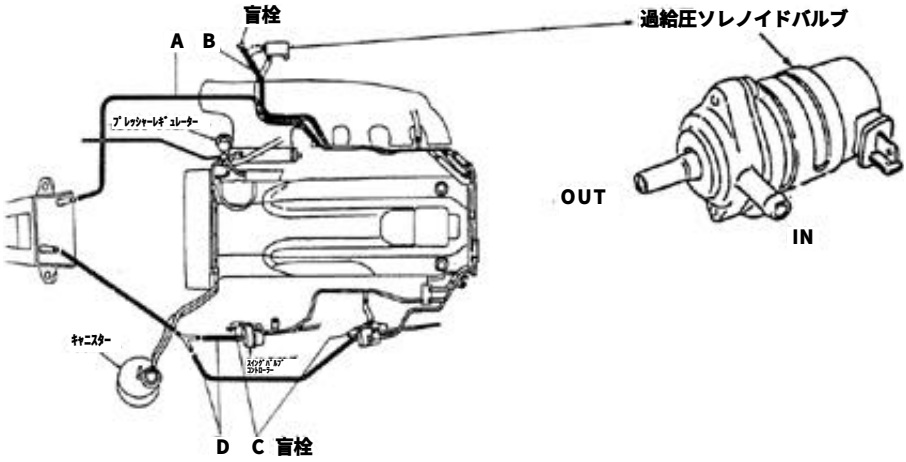
## ■車種別基本配管図

**ＢＮＲ３２／ＢＣＮＲ３３／ＢＮＲ３４**

**（１）純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブの２本の配管の内、下図ＩＮ側をゴムホースの根元部分から外し（図中Ａ）付属のホースでバルブユニットのＩＮ側へ配管してください。純正の過給圧コントロールソレノイドバルブの配管（図中Ｂ）はソレノイドバルブから抜き栓をしてください。**

**（２）２つのターボチャージャーそれぞれに付属しているアクチュエータの配管（図中Ｃ）を外し栓をしてください。また、それぞれのアクチュエータから配管を引き（図中Ｄ）付属の３ＷＡＹで一つにまとめてバルブユニットのＯＵＴ側へ配管してください。**

**（３）サージタンク（コレクタータンク）の圧力をＣＰＵユニットへ配管してください。**



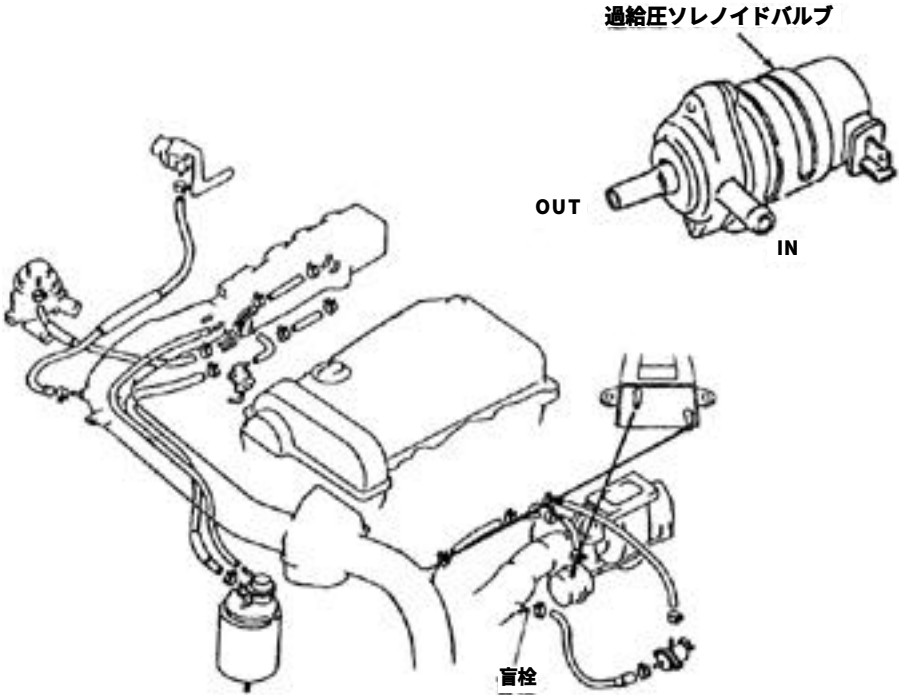
**ＰＳ１３／ＲＰＳ１３／Ｓ１４／Ｓ１５**

**（１）純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブに接続されている配管を取り外しソレノイドバルブを取り外してください。**

**（２）付属のφ６ホースを使用してインテークチューブとバルブユニットのＩＮ側を接続してください。また、アクチュエータとバルブユニットのＯＵＴ側を接続してください。**

**（３）純正の過給圧コントロールソレノイドバルブのＯＵＴ側配管が接続されていたエアインレットチューブに栓をして塞いでください。**

**（４）バルブユニットを適切な場所に固定しサージタンク（インテークマニホールド）圧をＣＰＵユニットに配管してください。**



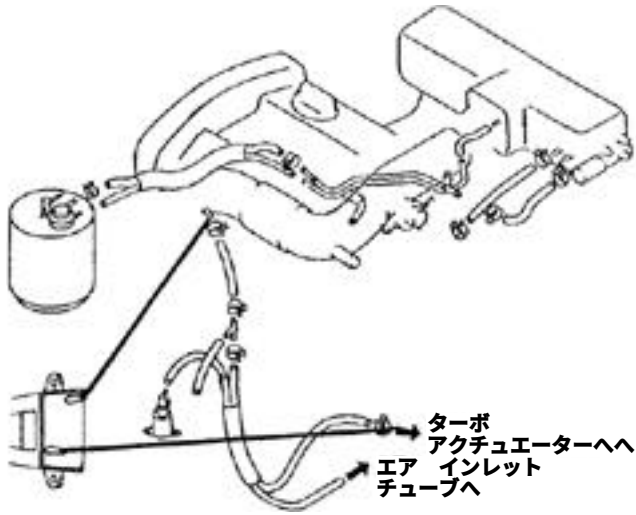
**ＥＣＲ３３／ＥＲ３４**

**（１）純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブに接続されている配管を取り外しソレノイドバルブを取り外してください。**

**（２）付属のφ６ホースを使用してインテークチューブとバルブユニットのＩＮ側を接続してください。また、アクチュエータとバルブユニットのＯＵＴ側を接続してください。**

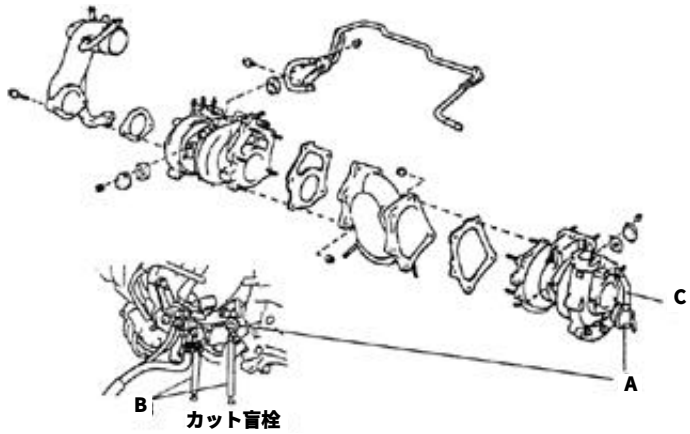
**（３）純正の過給圧コントロールソレノイドバルブのＯＵＴ側配管が接続されていたエアインレットチューブに栓をして塞いでください。**

**（４）バルブユニットを適切な場所に固定しサージタンク（インテークマニホールド）圧をＣＰＵユニットに配管してください。**

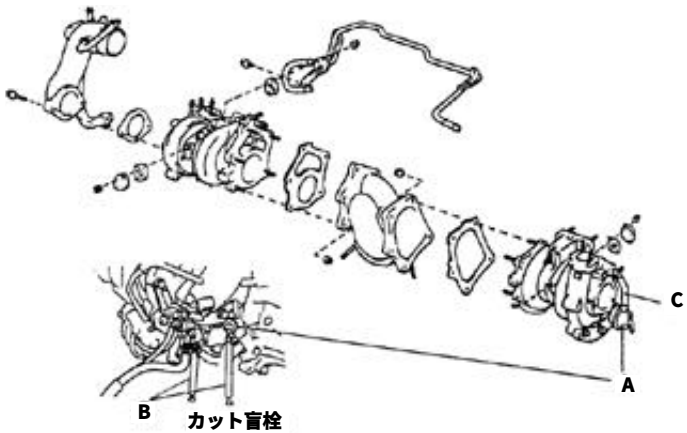


ＪＺＡ８０／ＪＺＳ１４７／ＪＺＳ１６１

（1）車両フロント側プライマリーターボチャージャーのアクチュエータ（図中Ａ）から２本の配管が出ています。純正の過給圧コントロールソレノイドバルブに配管されている方（図中Ｂ）をカットし栓をしてください。




（2）アクチュエータからターボのコンプレッサーカバーにつながるもう一方の配管（図中Ｃ）を取り外しコンプレッサーからバルブユニットのＩＮ側にバルブユニットのＯＵＴ側をアクチュエータに配管してください。
※ＫＩＴ付属のホースクランプを使用して下さい。

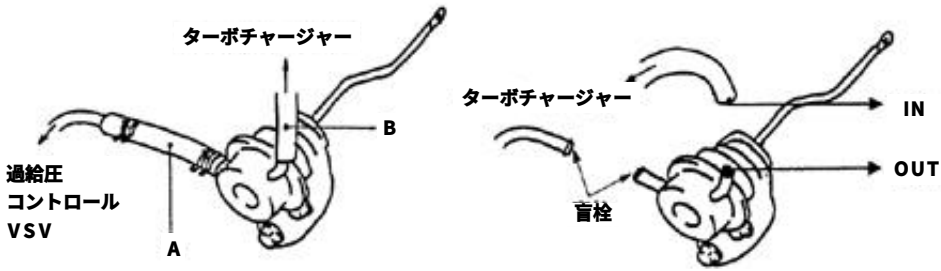



（3）バルブユニットを適切な場所に固定しサージタンク（インテークマニホールド）圧をＣＰＵユニットに配管してください。

ＥＰ８２／ＥＰ９１

（１）アクチュエータから２本ある配管の内（Ａ／Ｂ）、純正の過給圧コントロールバルブ（ＶＳＶ）につながる配管（図中Ａ）を取り外し栓をしてください。

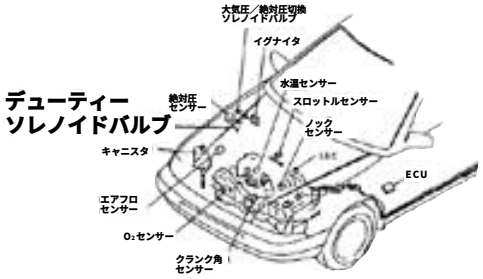
（２）アクチュエータから出ているもう一方の配管（図中Ｂ）を取り外し、ターボのコンプレッサーをバルブユニットのＩＮ側へ配管し、アクチュエータをバルブユニットのＯＵＴ側へ配管してください。

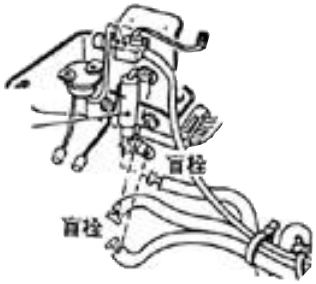



（３）バルブユニットを適切な場所に固定しサージタンク（インテークマニホールド）圧をＣＰＵユニットに配管してください。

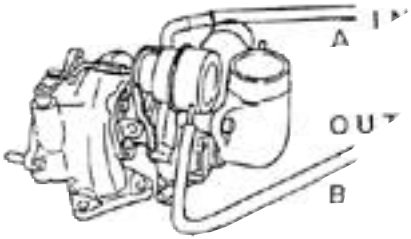
**ＧＣ８／ＧＦ８**

**（１）車両右側ストラット脇の過給圧コントロールソレノイドバルブから３本の配管すべてを抜きそれぞれボルト等で栓をしてください。**



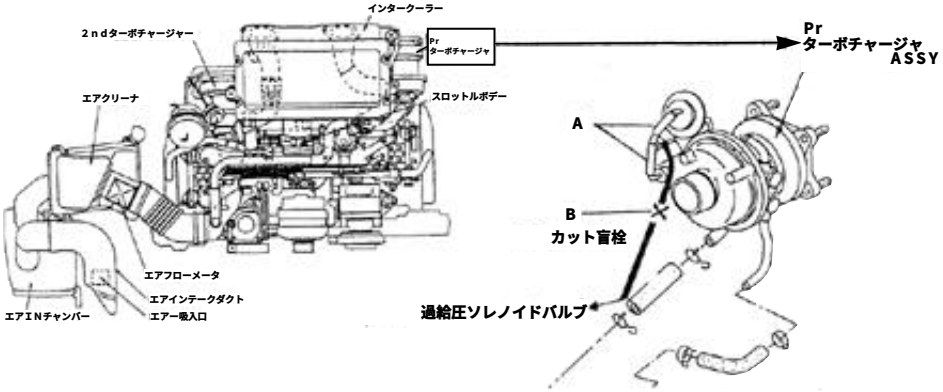

**（２）ターボチャージャーのコンプレッサーからバルブユニットのＩＮ側へ配管（図中Ａ）をしバルブユニットのＯＵＴ側からアクチュエータに配管（図中Ｂ）してください。**



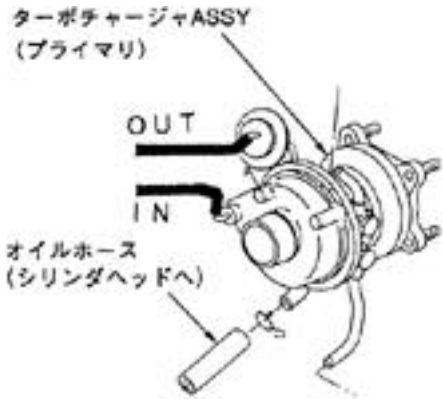

**（３）バルブユニットを適切な場所に固定しサージタンク（インテークマニホールド）圧をＣＰＵユニットに配管してください。**

**ＢＧ５／ＢＨ５**

**（１）エンジン左側プライマリーターボチャージャーのコンプレッサーとアクチュエータを繋ぐ配管（図中Ａ）を取り外してください。中間に過給圧コントロールソレノイドへの３ＷＡＹがありますが一緒に取り外して下さい。**



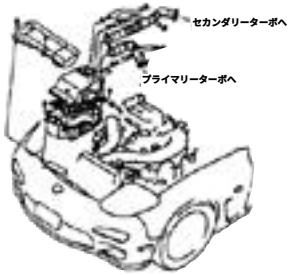

**（２）（１）で取り外した３ＷＡＹからでているソレノイドバルブに繋がる配管に栓（図中Ｂ）をし、コンプレッサーからバルブユニットのＩＮ側に、アクチュエータからバルブユニットのＯＵＴ側にそれぞれ付属のφ６ホースを使用して配管してください。**




**（３）バルブユニットを適切な場所に固定しサージタンク（インテークマニホールド）圧をＣＰＵユニットに配管してください。**

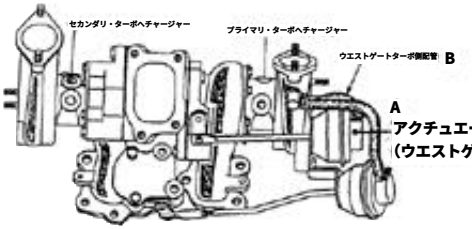
**ＦＤ３Ｓ　ＲＸ－７**

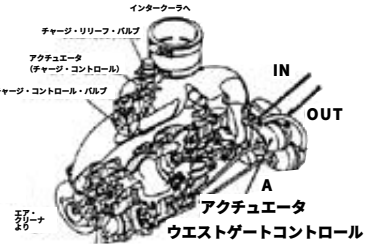
**（1）純正のエアクリーナーＢＯＸを取り外してください。**



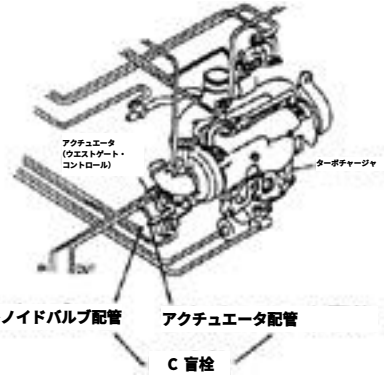

**（2）車両フロント側のプライマリターボチャージャーの下に２つのアクチュエータが縦に並んでいます。上側のウエストゲートコントロール用のアクチュエータ（図中Ａ）に2本の配管があり、まずコンプレッサーにつながっている配管（図中Ｂ）を外しコンプレッサーからバルブユニットのＩＮ側へ、アクチュエータからバルブユニットのＯＵＴ側へ配管してください。**

**※下側のアクチュエータには配管しません。**




**（3）次に、（2）のウエストゲートコントロールアクチュエータ（図中Ａ）から出ているもう一方の配管（図中Ｃソレノイドバルブに繋がる配管）をカットして栓をしてください。**




**（4）バルブユニットを適切な場所に固定しサージタンク（インテークマニホールド）圧をＣＰＵユニットに配管してください。**

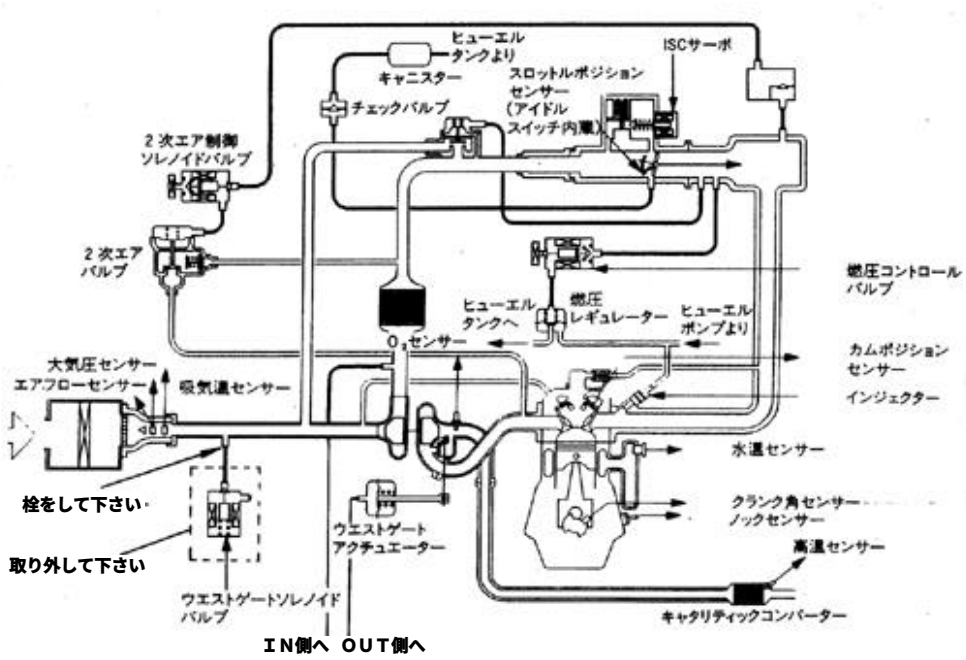
**ＣＮ９Ａ／ＣＰ９Ａ**

**（１）純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブに接続されている配管を取り外し下図のように栓をしてください。**

**（２）付属のφ６ホースを使用して下図のようにコンプレッサーアウトとバルブユニットのＩＮ側を接続してください。また、アクチュエータとバルブユニットのＯＵＴ側を接続してください。**

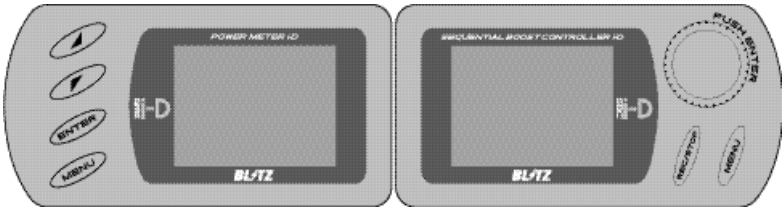
**（３）純正の過給圧コントロールソレノイドバルブのＯＵＴ側配管が接続されていたエアインレットチューブに栓をして塞いでください。（エアフロセンサー後）**

**（４）バルブユニットを適切な場所に固定しサージタンク（インテークマニホールド）圧をＣＰＵユニットに配管してください。**



■ＣＰＵユニットとコントローラーの取り付け

１．サージタンク（負圧から正圧まですべての圧力を検出できる場所）からの圧力を付属のジョイントＴパイプ、ナイロンホース、ナイロンホースジョイントを使用して、付属のＣＰＵユニットのφ４ナイロンホースに入力してください。
２．同様にエンジンルームよりバルブユニットに接続したメインハーネスを車室内に引き込みＣＰＵユニットのコネクターへ接続してください。この時、メインハーネスのコネクターから出ている赤色線（電源線）をＩＧＮ－ＯＮで＋１２Ｖ出力する場所へ接続し、黒色線（アース線）をボディーアースしてください。
３．コントローラー（表示器）は付属の両面テープ等で運転に支障のない場所へ取り付け、コントローラーからのハーネス（５極）をＣＰＵユニットに入力（接続）してください。
４．３極のコネクターは別売の弊社製品マップアナライザー接続用です。通常は未接続にします。
ＰＯＷＥＲ　ＭＥＴＥＲ　ｉ－Ｄと連動させる場合、付属の連結プレートをコントローラー裏の凹部へ貼り付けお互いがどの方向に対してもズレないように取り付けてください。




５．ＣＰＵユニットの４極のポートはオプション設定の外部電圧入力ハーネスの接続用です。通常は未接続です。
６．バッテリーのマイナス端子を接続し、もう一度各部を点検してからＩＧＮ－ＯＮにしてください。コントローラーの表示部にオープニング画面が現れ約４秒後にメインメニュー画面が表示されれば取り付け作業は完了です。

## ■ 取り付け終了後、以下の内容を確認してください

・各部品がしっかり固定されているか、確認してください。
長時間走行した時に部品などが外れると、大変危険です。
・バルブユニットの配管に間違いがないか、確認してください。
配管に不具合がありますと、本体の作動不良の原因となります。
最悪の場合、エンジン破損の原因となります。
・配線の接続を間違えていないか、確実に接続されているか、アース不良を起こしていないか確認してください。
接続に不具合がありますと、本体の作動不良の原因となります。
最悪の場合、エンジン破損の原因となります。
・配線・配管類の周辺部品との干渉に注意してください。特に、可動部分に干渉していないか確認してください。
配線・配管に傷をつけたりショートを起こすと、本体の作動不良の原因となります。
最悪の場合、エンジン破損の原因となります。

## ■ イグニッションをＯＮにして、以下の内容を確認してください

・ＳＢＣ－ｉＤの表示部に文字などが正しく表示されていますか？
この製品の表示が正しく行われない場合は、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
・ＳＢＣ－ｉＤおよび車両から異音・異臭などの異常はありませんか？
この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。

## ■装着可能自動車と製品の仕様

□装着車種：電源回路がＤＣ１２Ｖ車でターボチャージャー装着車
□製品名称：ＳＢＣ　ｉ－Ｄ
□製品番号：１５０５５

## ■製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはＦＡＸにて下記宛にお願いします。

□連絡先　（株）ブリッツ　　□ＴＥＬ　０４２２－６０－０５１５
□住　所　東京都保谷市新町４－７－６　　□ＦＡＸ　０４２２－６０－０５２１

取扱説明書番号　１５０５５０１
初版作製年月日　２０００．０６．３０

## 製品の初期値と仕様

| | |
|---|---|
| ブースト圧ピーク値 | ： ０．００[×１００ｋＰ] |
| 制御チャンネル | ： ＣＨ１ |
| オートピークリセット | ： ＯＦＦ |
| ＡＣ／WG切り替え | ： ＡＣ |
| ブースト圧単位 | ： ×１００ｋＰ |
| ＬＣＤコントラスト | ： ３５ |
| バックライト明るさ | ： １０ |
| スクランブル時間 | ： ＯＦＦ |
| スクランブルチャンネル | ： ＣＨ１ |
| ワーニングスイッチ | ： ＯＦＦ |
| ブザー | ： ＯＦＦ |
| ブースト圧 | ： １．００[×１００ｋＰ] |
| 制御値 | ： ０ |
| 目標ブースト圧 | ： ０．６０[×１００ｋＰ] |
| 補正状態 | ： ＡＵＴＯ　未補正 |
| 補正値・マニュアル設定値 | ： ０ |
| ゲイン | ： ５ |
| 速度マップ | ： 全ＯＦＦ |
| ＤＡＴＡ１設定情報 | ： ０～５．０Ｖ　０～１００　％ |
| ＤＡＴＡ２設定情報 | ： ０～１２．０Ｖ ０～２００　℃ |
| ＤＡＴＡ３設定情報 | ： ０～１６．０Ｖ ０～１６．０ Ｖｏｌｔ |
| ＤＡＴＡピーク値 | ： ０ |
| ブーストグラフスケール | ： １．００[×１００ｋＰ] |
| 表示機モード | ： ＭＡＩＮ　ＭＥＮＵ画面 |

| | |
|---|---|
| 作動電圧 | ：ＤＣ１２Ｖバッテリー車両対応 |
| 動作温度 | ：－２０℃～６０℃ |
| サンプリングタイム | ：０．２Ｓ |
| 通信周期 | ：０．２Ｓ |

## 保証書（切り取って使用して下さい。）

製品名　　製造番号

この度は本製品をお買い上げ下さいまして、誠にありがとうございます。
本製品が正常なご使用状態で、製造上の原因による故障が生じた場合、下記保証期間中において本状記載の保証規定に基き無償修理いたします。

| | |
|---|---|
| 購入日　　年　　月　　日 | |
| 車両名 | 車両型式 |
| エンジン型式 | 年式 |
| お客様の住所 | |
| お客様の氏名 | |
| 販売店名 | |

（販売店様へ）
本保証書にはお買い上げ日、販売店名（印）など記入漏れがないようにお願いいたします。万一
記入漏れがありますと、保証期間中でも有償となります。
（お客様へ）
本保証書をお受け取りの際は、保証書に記入漏れがない事を必ず確認してください。
万一記入漏れがありましたら、ただちにお買い上げの販売店に申し出下さい。
保証期間　　購入日より１年間

## 保証書規定

**１．万一故障が生じた場合、お買い上げ販売店にお申し出下さい。**
**２．本製品の修理を依頼される際は必ず本保証書に故障状況、購入店、購入年月日を明確に明記し添付して販売店に申し出下さい。**
**３．なお、次のような場合は保証期間中でも有償修理となります。**
**○保証書の提示がない場合**
**○誤った取り付け及び取り扱い、または不当な改造や修理等によって生じた故障及び損傷**
**○他の機器が原因で本製品に故障が生じた場合**
**○購入後、経年変化、消耗品の交換**
**○保証書の所定事項が一つでも未記入の場合、及び所定事項を訂正された場合**
**４．本製品が原因で生じた付随的障害（エンジントラブル、その他事故）や自動車が使用できなかったことによる損失（電話代、レンタカー代、休業保障、商業損失等）等については一切の保証は致し兼ねます。**
**５．本保証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。**

**（故障内容）**

**（当社記入欄）**